

総務委員会説明資料

《報告事項》

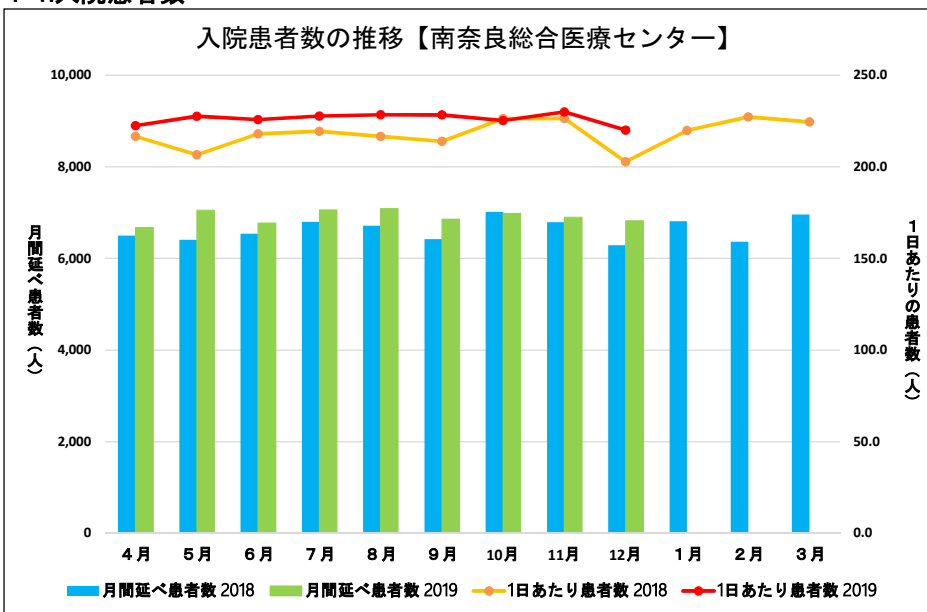
- | | |
|--|-------------------|
| (1) 令和元年度診療状況について | 【資料1】 1 |
| (2) 令和元年度収支状況について | 【資料2】 4 |
| (3) 南和地域における地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療
の推進の取組について | 【資料3】 5 |

南 和 広 域 医 療 企 業 団
令 和 2 年 2 月 2 8 日

令和元年度 診療状況について

1. 南奈良総合医療センター

1-1.入院患者数



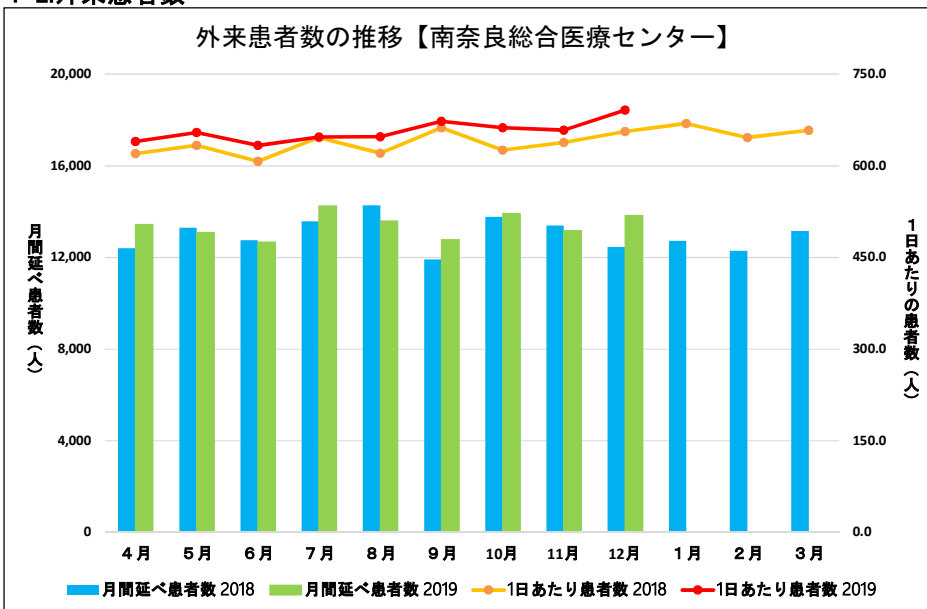
南奈良総合医療センター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2018 6,498	6,406	6,539	6,800	6,716	6,419	7,015	6,792	6,286	6,813	6,364	6,961
	2019 6,674	7,055	6,773	7,059	7,084	6,853	6,983	6,901	6,822			
1日あたり患者数	2018 216.6	206.6	218.0	219.4	216.6	214.0	226.3	226.4	202.8	219.8	227.3	224.5
	2019 222.5	227.6	225.8	227.7	228.5	228.4	225.3	230.0	220.1			

4～12月の累計比較

	2018	2019	増減
延べ患者数(人)	59,471	62,204	2,733
病床稼働率(%)	93.2	97.5	4.3
診療単価(円)	49,440	49,600	160
平均在院日(日)	13.2	13.3	0.1

病床稼働率は高水準
入院患者数は毎月前年を上回る

1-2.外来患者数



南奈良総合医療センター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2018 12,398	13,299	12,753	13,571	14,278	11,920	13,769	13,402	12,464	12,716	12,290	13,159
	2019 13,435	13,092	12,665	14,238	13,598	12,785	13,907	13,165	13,825			
1日あたり患者数	2018 619.9	633.3	607.3	646.2	620.8	662.2	625.9	638.2	656.0	669.3	646.3	658.0
	2019 639.8	654.6	633.3	647.2	647.5	672.9	662.2	658.3	691.3			

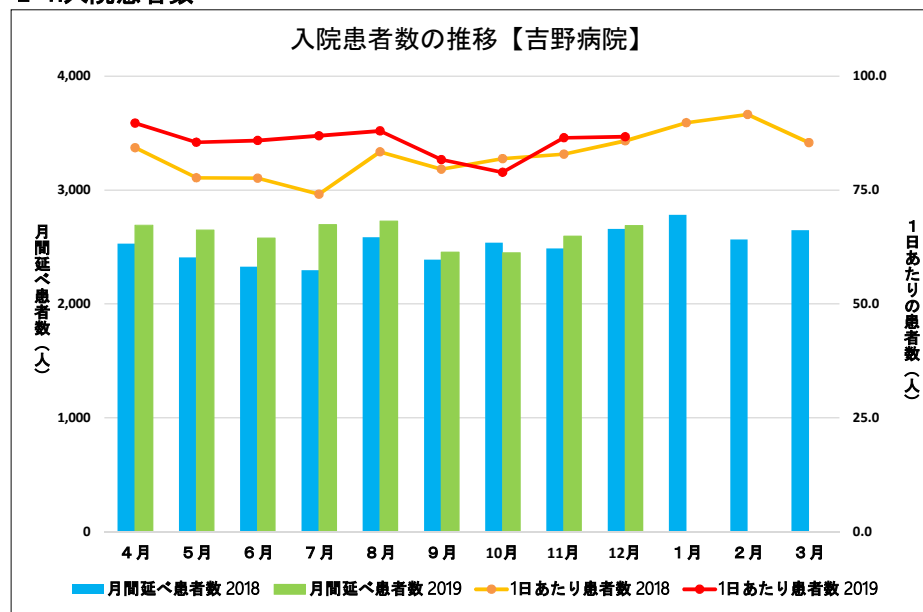
4～12月の累計比較

	2018	2019	増減
延べ患者数(人)	117,854	120,710	2,856
1日平均(人)	634	656	22
診療単価(円)	10,873	11,684	811

1日あたり患者数、診療単価ともに前年を上回る

2. 吉野病院

2-1.入院患者数



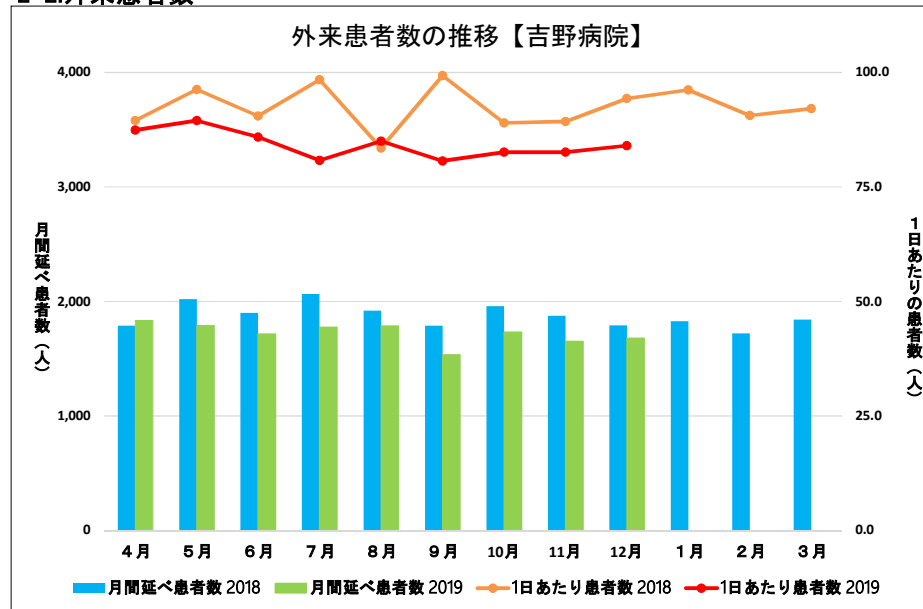
吉野病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2018 2,529	2,409	2,328	2,297	2,585	2,387	2,538	2,487	2,660	2,784	2,566	2,646
	2019 2,692	2,649	2,576	2,694	2,728	2,452	2,447	2,595	2,687			
1日あたり患者数	2018 84.3	77.7	77.6	74.1	83.4	79.6	81.9	82.9	85.8	89.8	91.6	85.4
	2019 89.7	85.5	85.9	86.9	88.0	81.7	78.9	86.5	86.7			

4～12月の累計比較

	2018	2019	増減
延べ患者数(人)	22,220	23,520	1,300
病床稼働率(%)	84.2	89.1	4.9
診療単価(円)	21,095	20,804	-291
平均在院日(日)	18.3	20.3	2.0

病床稼働率は90%に近づき、入院患者数はほぼ毎月前年を上回る

2-2.外来患者数



吉野病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2018 1,790	2,022	1,901	2,066	1,921	1,788	1,959	1,875	1,791	1,827	1,721	1,841
	2019 1,835	1,790	1,717	1,777	1,786	1,534	1,734	1,652	1,680			
1日あたり患者数	2018 89.5	96.3	90.5	98.4	83.5	99.3	89.0	89.3	94.3	96.2	90.6	92.1
	2019 87.4	89.5	85.9	80.8	85.0	80.7	82.6	82.6	84.0			

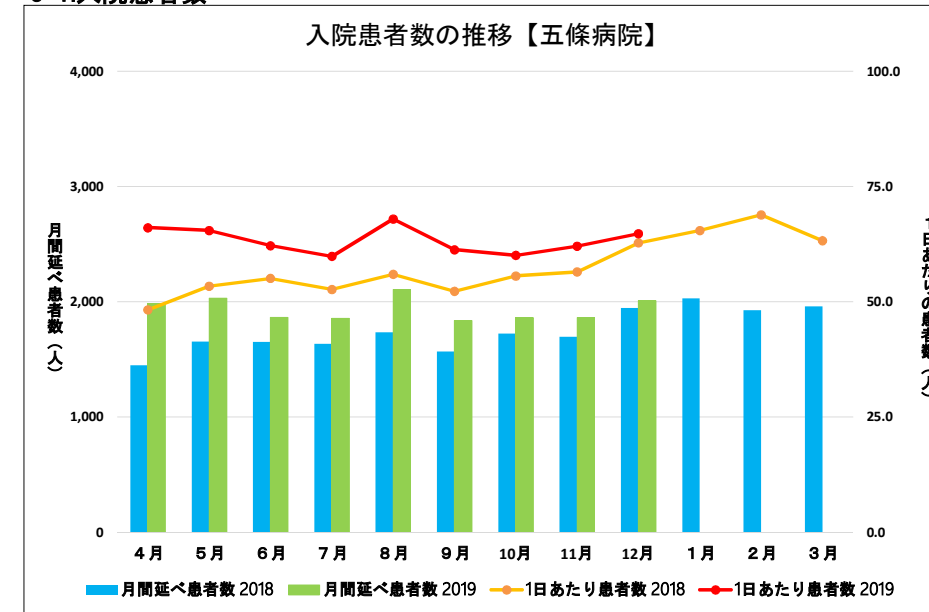
4～12月の累計比較

	2018	2019	増減
延べ患者数(人)	17,113	15,505	-1,608
1日平均(人)	92	84	-8
診療単価(円)	14,481	8,484	-5,997

患者数は前年を下回り、診療単価も院外処方実施の影響で前年より大きく減少

3. 五條病院

3-1.入院患者数



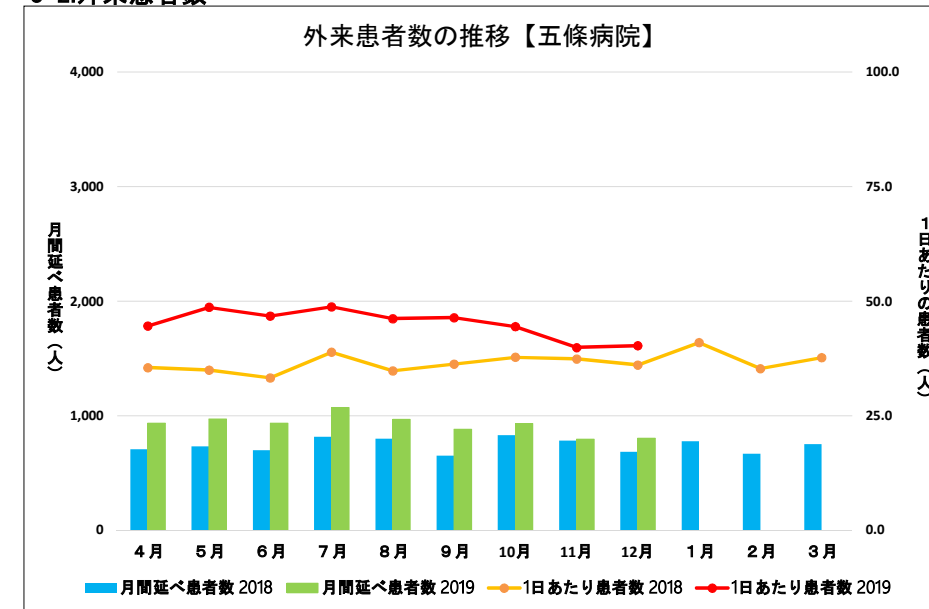
五條病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2018 1,449	1,656	1,652	1,635	1,736	1,569	1,724	1,696	1,947	2,032	1,928	1,962
	2019 1,983	2,031	1,865	1,858	2,107	1,838	1,862	1,864	2,009			
1日あたり患者数	2018 48.3	53.4	55.1	52.7	56.0	52.3	55.6	56.5	62.8	65.5	68.9	63.3
	2019 66.1	65.5	62.2	59.9	68.0	61.3	60.1	62.1	64.8			

4～12月の累計比較

	2018	2019	増減
延べ患者数(人)	15,064	17,417	2,353
病床稼働率(%)	82.6	89.2	6.6
診療単価(円)	20,294	21,194	900
平均在院日(日)	17.0	17.2	0.2

病床稼働率は90%に近づき、入院患者数は毎月前年を上回るとともに診療単価も上昇

3-2.外来患者数



五條病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2018 709	735	699	817	800	654	832	785	685	779	670	753
	2019 937	973	935	1,073	971	882	934	798	805			
1日あたり患者数	2018 35.5	35.0	33.3	38.9	34.8	36.3	37.8	37.4	36.1	41.0	35.3	37.7
	2019 44.6	48.7	46.8	48.8	46.2	46.4	44.5	39.9	40.3			

4～12月の累計比較

	2018	2019	増減
延べ患者数(人)	6,716	8,308	1,592
1日平均(人)	36	45	9
診療単価(円)	8,856	8,179	-677

皮膚科診療の開始により患者数は前年より増加、診療単価は若干の減少

救急車搬送患者数 令和元年度4月～12月

※奈良県広域消防組合調べ

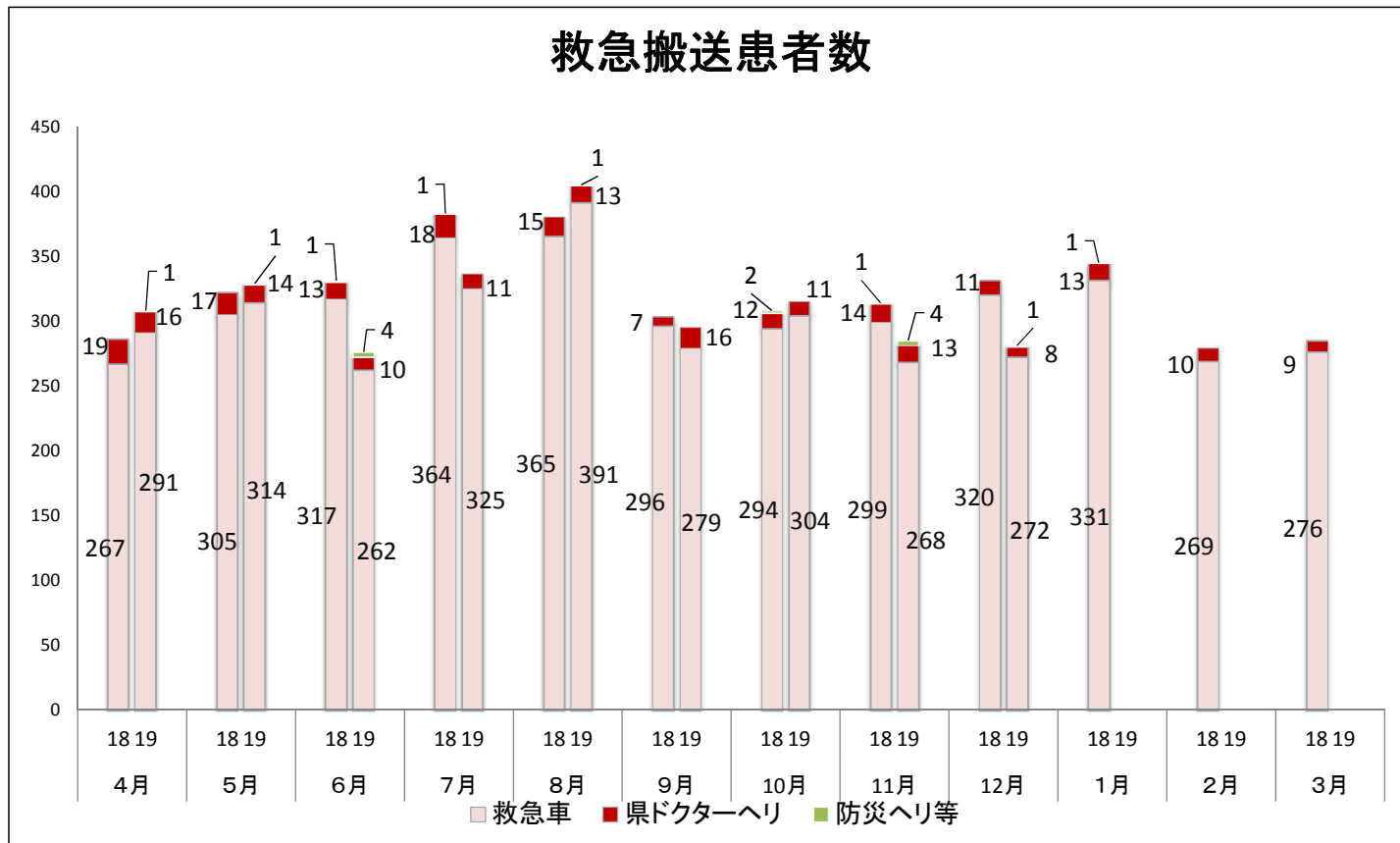
		累 計 (4～12月)																	
		県広域 消防組合 総搬送数(A)			受 入 れ 医 療 機 関														
					南奈良総合医療センター			奈良医大 救命・ER・外来			橋本市民			その他					
		2018	2019	増減	受入数(B)		収容率(B/A)	2018	2019	増減	2018	2019	増減	2018	2019	増減	2018	2019	増減
奈良県広域消防組合	中吉野	大淀署	805	834	29	556	542	-14	69.1%	65.0%	99	112	13	4	4	0	146	176	30
		下市署	278	276	-2	207	215	8	74.5%	77.9%	19	27	8	2	0	-2	50	34	-16
		黒滝分署	59	61	2	38	41	3	64.4%	67.2%	10	9	-1	0	0	0	11	11	0
		天川分署	117	86	-31	79	57	-22	67.5%	66.3%	6	5	-1	0	0	0	32	24	-8
	五條	五條署	1,342	1,388	46	958	914	-44	71.4%	65.9%	74	112	38	133	162	29	177	200	23
		大塔分署	55	65	10	29	31	2	52.7%	47.7%	1	2	1	1	2	1	24	30	6
		十津川分署	135	157	22	36	50	14	26.7%	31.8%	1	4	3	1	5	4	97	98	1
		西吉野出張所	104	125	21	70	88	18	67.3%	70.4%	4	7	3	4	7	3	26	23	-3
	吉野	吉野署	587	557	-30	394	378	-16	67.1%	67.9%	35	50	15	0	0	0	158	129	-29
		北山分署	89	98	9	39	49	10	43.8%	50.0%	3	0	-3	0	0	0	47	49	2
	野迫川	野迫川分署	16	16	0	3	7	4	18.8%	43.8%	1	1	0	6	5	-1	6	3	-3
	南和地域 計		3,587	3,663	76	2,409	2,372	-37	67.2%	64.8%	253	329	76	151	185	34	774	777	3
	中和	御所署	1,218	1,312	94	136	87	-49	11.2%	6.6%	183	202	19	10	2	-8	889	1,021	132
高市署		787	816	29	66	51	-15	8.4%	6.3%	160	166	6	0	0	0	561	599	38	
宇陀	宇陀署	1,590	1,618	28	32	31	-1	2.0%	1.9%	179	172	-7	0	0	0	1,379	1,415	36	
その他		27,752	28,147	395	159	152	-7	0.6%	0.5%	3,155	3,019	-136	1	1	0	24,437	24,975	538	
県消防 合計		34,934	35,556	622	2,802	2,693	-109	8.0%	7.6%	3,930	3,888	-42	162	188	26	28,040	28,787	747	
他消防(県外等)					25	13	-12												
総 計					2,827	2,706	-121												

救急患者数

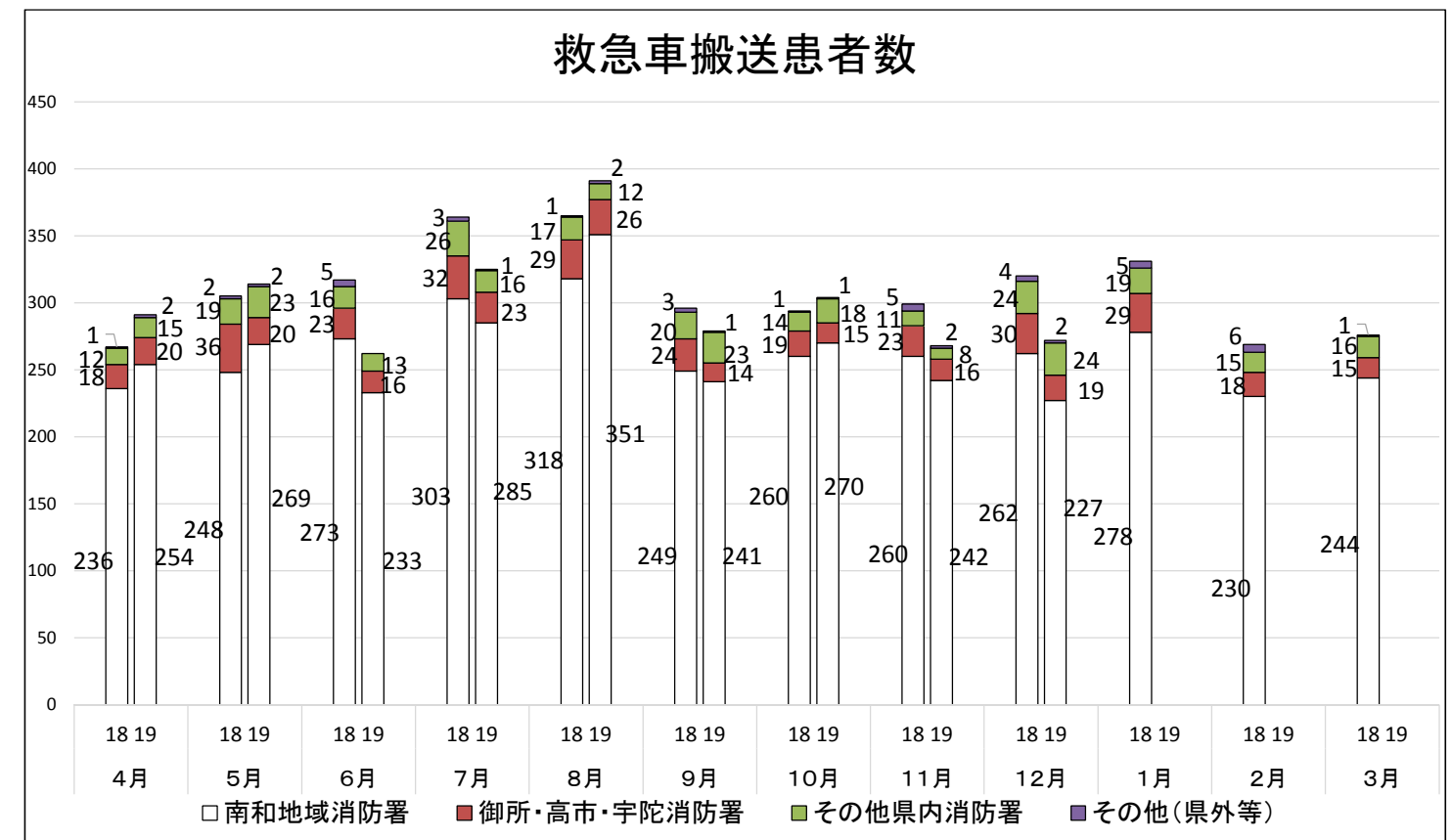
	2018年			2019年			増 減		
	南和	南和以外	計	南和	南和以外	計	南和	南和以外	計
救 急 車	2,177	650	2,827	2,144	562	2,706	-33 (-1.5%)	-88 (-13.5%)	-121 (-4.3%)
県ドクターヘリ	91	35	126	87	25	112	-4 (-4.4%)	-10 (-28.6%)	-14 (-11.1%)
防災ヘリ等	1	4	5	2	10	12	1 (100.0%)	6 (150.0%)	7 (140.0%)
ウォークイン	5,329	934	6,263	6,117	1,014	7,131	788 (14.8%)	80 (8.6%)	868 (13.9%)
合 計	7,598	1,623	9,221	8,350	1,611	9,961	752 (9.9%)	-12 (-0.7%)	740 (8.0%)
1日平均	27.6	5.9	33.5	30.4	5.9	36.3	2.8	0.0	2.8

※患者の住所地で区分

救急搬送患者数



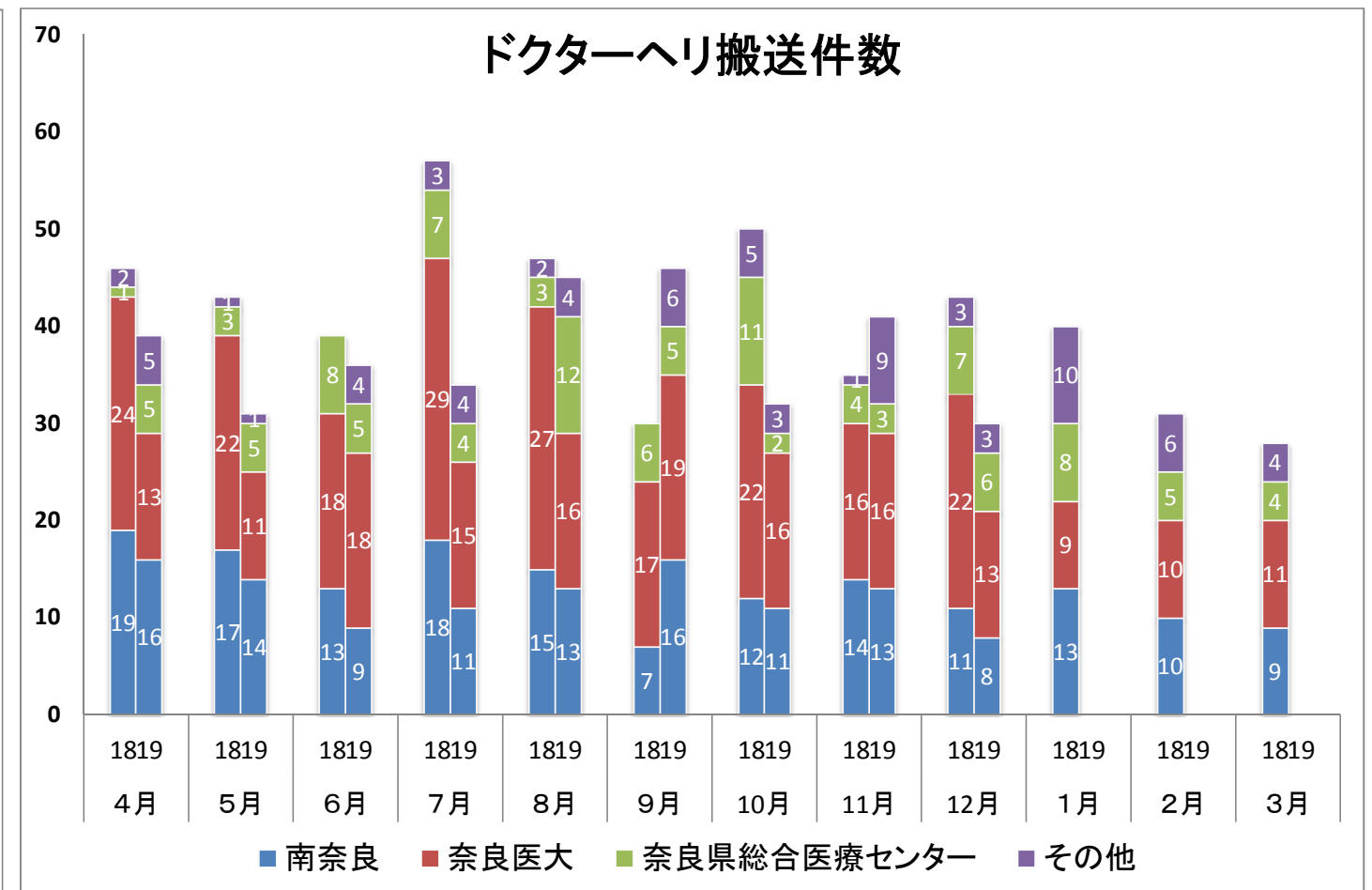
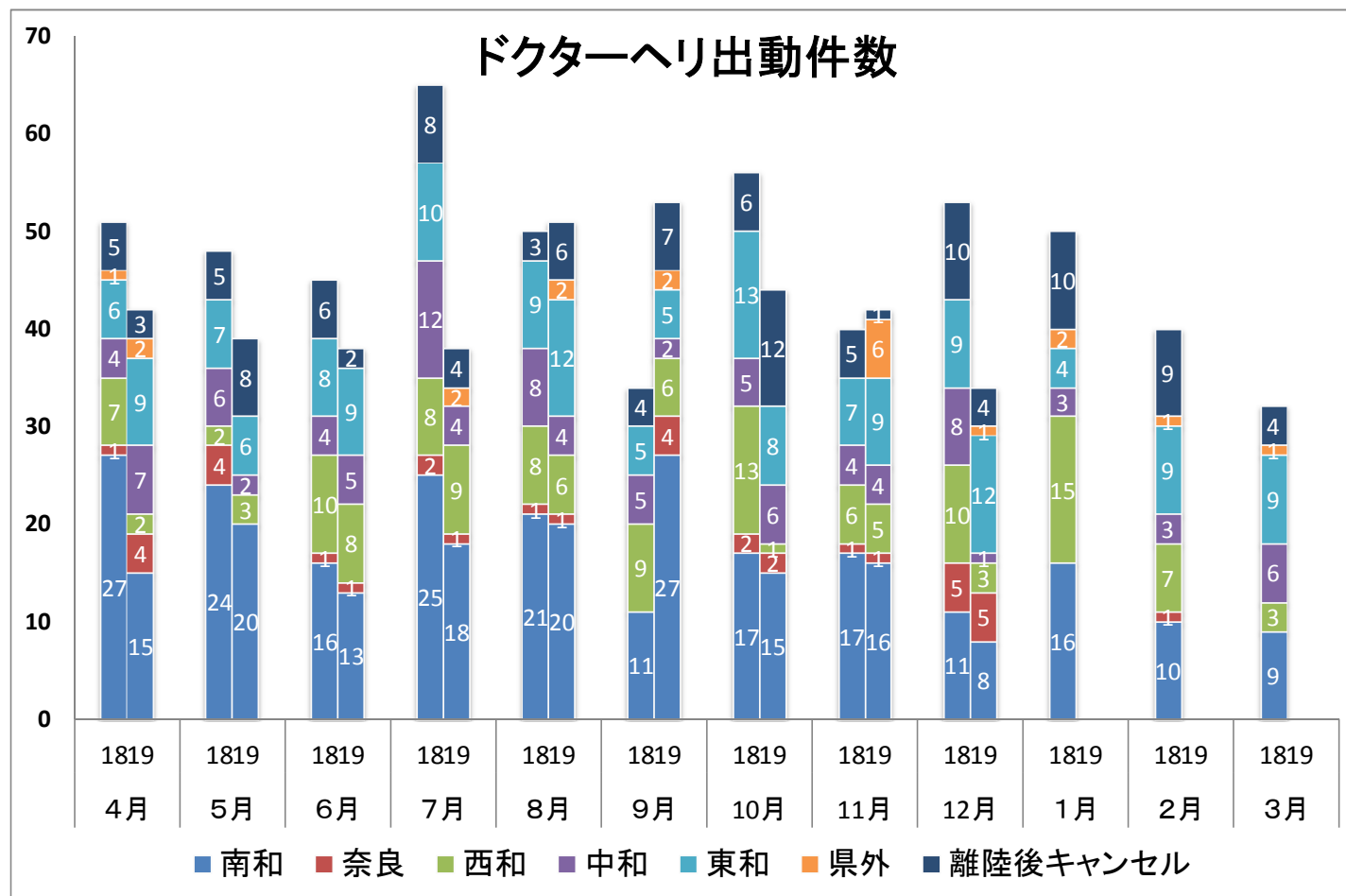
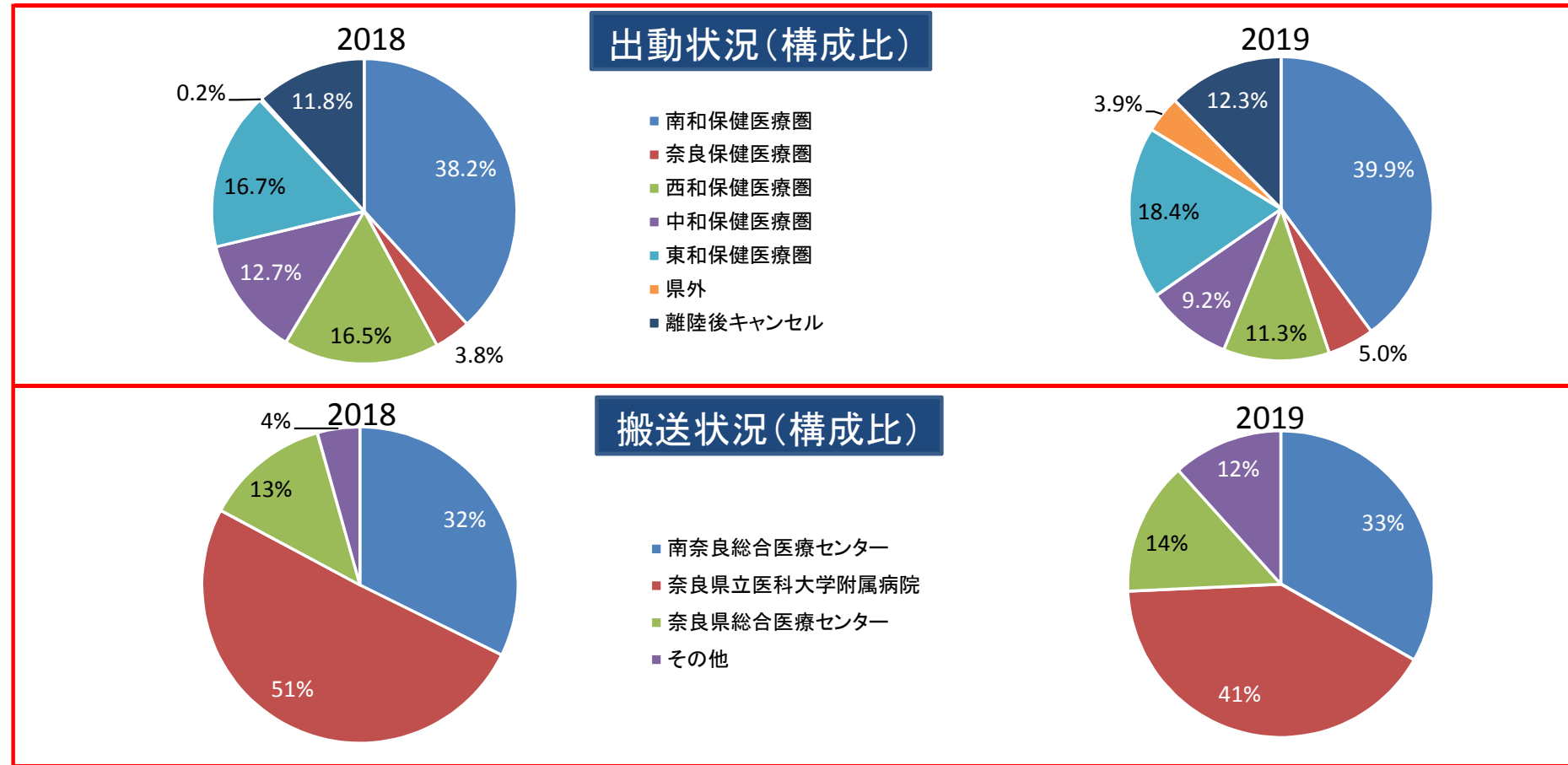
救急車搬送患者数



ドクターヘリ出動状況 令和元年度4月～12月

出動件数	累計(4～12月)		
	2018	2019	増減
南和保健医療圏	169	152	-17
奈良保健医療圏	17	19	2
西和保健医療圏	73	43	-30
中和保健医療圏	56	35	-21
東和保健医療圏	74	70	-4
県外	1	15	14
小計	390	334	-56
離陸後キャンセル	52	47	-5
合計	442	381	-61

搬送件数	累計(4～12月)		
	2018	2019	増減
南奈良総合医療センター	126	111	-15
対出動件数(キャンセル除く)	32.3%	33.2%	
南和地域出動受入件数	114	101	
奈良県立医科大学附属病院	197	137	-60
奈良県総合医療センター	50	47	-3
その他	17	39	22
合計	390	334	-56



令和元年度 南和広域医療企業団病院事業収支状況について

資料 2

○令和元年度 収益的収支 決算見込

単位:百万円

	〔予算〕 令和元年度 予定損益計算書				〔決算〕 令和元年度 損益計算書(見込)				〔予算〕と〔決算(見込)〕の差			
	南奈良・看専	吉野	五條	計(B)	南奈良・看専	吉野	五條	計(B)	南奈良・看専	吉野	五條	計(B)
1 総収益	8,109	1,193	916	10,218	8,047	1,088	874	10,009	△ 62	△ 105	△ 42	△ 209
(1) 医業収益	6,537	1,041	689	8,267	6,469	936	646	8,051	△ 68	△ 105	△ 43	△ 216
ア 入院収益	4,098	675	473	5,246	4,106	650	489	5,245	8	△ 25	16	△ 1
イ 外来収益	1,925	245	155	2,325	1,855	173	89	2,117	△ 70	△ 72	△ 66	△ 208
ウ その他医業収益	237	48	12	297	232	40	20	292	△ 5	△ 8	8	△ 5
エ 県補助金	36	0	0	36	36	0	0	36	0	0	0	0
オ 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カ 他会計負担金	241	73	49	363	240	73	48	361	△ 1	0	△ 1	△ 2
(2) 医業外収益	1,447	152	227	1,826	1,459	152	228	1,839	12	0	1	13
ア 受取利息及び配当金	1	0	0	1	0	0	0	0	△ 1	0	0	△ 1
イ 県補助金	21	0	0	21	21	0	0	21	0	0	0	0
ウ 他会計補助金	29	0	0	29	26	0	0	26	△ 3	0	0	△ 3
エ 他会計負担金	294	87	59	440	291	87	60	438	△ 3	0	1	△ 2
オ 長期前受金戻入 B	1,066	60	167	1,293	1,066	60	167	1,293	0	0	0	0
カ その他医業外収益	36	5	1	42	55	5	1	61	19	0	0	19
(3) 看護師養成事業収益	125	0	0	125	119	0	0	119	△ 6	0	0	△ 6
ア 県補助金	80	0	0	80	80	0	0	80	0	0	0	0
イ その他看護師養成事業収益	45	0	0	45	39	0	0	39	△ 6	0	0	△ 6
2 総費用	8,251	1,051	962	10,264	8,095	1,019	940	10,054	△ 156	△ 32	△ 22	△ 210
(1) 医業費用	8,021	1,051	962	10,034	7,866	1,019	940	9,825	△ 155	△ 32	△ 22	△ 209
ア 給与費	3,884	608	456	4,948	3,690	593	455	4,738	△ 194	△ 15	△ 1	△ 210
イ 材料費	1,294	98	77	1,469	1,418	87	65	1,570	124	△ 11	△ 12	101
ウ 経費	1,690	271	197	2,158	1,607	267	190	2,064	△ 83	△ 4	△ 7	△ 94
エ 減価償却費 D	1,133	72	230	1,435	1,133	71	230	1,434	0	△ 1	0	△ 1
オ 資産減耗費	1	1	1	3	0	0	0	0	△ 1	△ 1	△ 1	△ 3
カ 研究研修費	19	1	1	21	18	1	0	19	△ 1	0	△ 1	△ 2
(2) 医業外費用	119	0	0	119	118	0	0	118	△ 1	0	0	△ 1
ア 支払利息及び企業債取扱諸費	30	0	0	30	29	0	0	29	△ 1	0	0	△ 1
イ 長期前払消費税償却 C	74	0	0	74	74	0	0	74	0	0	0	0
ウ 消費税	15	0	0	15	15	0	0	15	0	0	0	0
(3) 看護師養成事業費用	111	0	0	111	111	0	0	111	0	0	0	0
ア 給与費	92	0	0	92	91	0	0	91	△ 1	0	0	△ 1
イ 看護師養成費	19	0	0	19	20	0	0	20	△ 1	0	0	△ 1
3 経常利益(損失)	△ 142	142	△ 46	△ 46	△ 48	69	△ 66	△ 45	94	△ 73	△ 20	1
4 特別損失	3	2	2	6	1	0	0	1	△ 2	△ 2	△ 2	△ 5
固定資産売却損	1	1	1	1	0	0	0	0	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1
過年度損益修正損	1	1	1	1	1	0	0	1	0	△ 1	△ 1	0
その他特別損失	1	1	1	1	0	0	0	0	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1
5 予備費	1	1	1	3	0	0	0	0	△ 1	△ 1	△ 1	△ 3
予備費	1	1	1	3	0	0	0	0	△ 1	△ 1	△ 1	△ 3
6 純利益(損失) A	△ 146	140	△ 49	△ 55	△ 49	69	△ 66	△ 46	97	△ 71	△ 18	9
7 前年度繰越利益剰余金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 その他未処分利益剰余金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 当年度未処分利益剰余金	△ 146	140	△ 49	△ 55	△ 49	69	△ 66	△ 46	97	△ 71	△ 18	9
実質収支(純損益) A	△ 146	140	△ 49	△ 55	△ 49	69	△ 66	△ 46	97	△ 71	△ 18	9
(収入) 長期前受金戻入額 B	1,066	60	167	1,293	1,066	60	167	1,293	0	0	0	0
(支出) 長期前払消費税償却額 C	74	0	0	74	74	0	0	74	0	0	0	0
(支出) 減価償却額等 D	1,134	73	231	1,438	1,133	71	230	1,434	△ 1	△ 2	△ 1	△ 4
(支出) 特別損失等 E	3	2	2	6	0	0	0	0	△ 3	△ 2	△ 2	△ 7
県への借入金返還金 F	50	0	4	54	50	0	4	54	0	0	0	0
借入金返還後収支 G	△ 51	155	14	116	42	80	△ 7	115	93	△ 75	△ 21	△ 2

※借入金返還後収支 G=A-B+C+D+E-F

○予算に対して
収益、費用ともほ
ぼ同額の減で有
り、特別損失、予
備費を除くとほ
ぼ予算どおりの決
算見込み

前年度決算は△81百万円であり、35百万円の収支改善の見込み

キャッシュフローにおいては昨年度決算は52百万円であり63百万円の改善見込み



「ラヒホイタヤ」:フィンランドにおいて保健医療分野と社会サービス分野の日常ケアに関する様々な資格を一体化し、一つの資格としたもの

県・市町村

- 保健師
- ・地域を保健面でコーディネート
- ・在宅難病患者などへの個別訪問
- 奈良県版ラヒホイタヤ構築の検討
- 南和地域におけるAIを活用した高齢者支援システムの構築

南奈良総合医療センター

- 〈急変時対応〉
- 〈入院診療〉
- 〈入退院支援〉
- 南和地域におけるAIを活用した高齢者支援システムとの連携
- 〈在宅に理解のある医療従事者の教育と育成〉
- 〈地域住民への啓発〉

【在宅医療支援センター・へき地医療支援センター】

- 医療ニーズが高い患者への訪問診療
- 機能強化型訪問看護ステーションの運営
- 地域の訪問看護ステーションとの共働（連携・補完）
- へき地診療所の運営コーディネート
- へき地への専門診療支援
- 地域の医療、介護職員への研修、相談対応などの支援

- 企業団 ○県・市町村保健師との連携強化
- 看護師(OB)のセカンドキャリアとして奈良県版ラヒホイタヤ養成の検討

看護協会

- (仮称) 訪問看護支援センター
- 訪問看護の研修・相談



五條病院

〈訪問診療・レスパイトも含めた在宅医療支援〉

へき地診療所



- 企業団 ○へき地診療所看護師応援システムの構築
- ・企業団によるへき地医療支援看護師の共同採用の検討 等
 - 看護師スキルアップ支援

吉野病院

〈訪問診療・レスパイトも含めた在宅医療支援〉



訪問看護ステーション



- 企業団 ○地域の訪問看護ステーションとの連携強化
- 地域で活躍できる看護師などの教育と研修

【地域の見守り】



【くらしの保健室】



地域の診療所



- 企業団 ○病診連携の強化
- 在宅療養後方支援

市町村の取組支援

- 看護師等が常駐し、市町村が実施する一次支援の場を支援

【くらしの保健室】

- ・常駐看護師等による健康相談、介護予防・健康づくりイベント等への看護師・リハビリ職等の派遣など医療面での一次サポート
- ・市町村の介護予防、健康づくり、生活支援事業を実施

- 企業団 ○看護師(OB)のセカンドキャリアとして運営を支援
- 医療専門職の派遣などによるサポート

地域包括支援センター

- ケアマネジャーと医療者の連携強化



- 企業団 ○医療面での研修などのサポート

地域包括ケアシステム構築に向けた医療と介護の連携 ～南和モデル～
「笑顔と元気でつながる地域づくり」

健康づくり
介護予防

支援の必要性

治療
看取り

専門職による支援

住民・地域の自助・互助

現状と課題

- 〈介護予防〉
- ・後期高齢者も容易に(歩いて)通える範囲に、効果のある体操を週1回以上実施する通いの場を住民主体で展開
 - ・南和地域では五條市、吉野町、下市町、天川村、野迫川村、東吉野村で通いの場を立ち上げ
- 〈予防医療〉
- ・市町村保健師と企業団との連携が不十分
 - ・軽症段階で専門診療を受けられない
- 【課題】
- ・医療機関と地域の通いの場との情報共有
 - ・介護予防に重要なリハビリ専門職等の助言、人材確保
 - ・訪問看護と訪問介護の連携
 - ・地域の健康づくり事業との連携
 - ・医療面で気軽に相談できる場所の確保

- 〈介護〉
- ・利用者減少等による介護事業所の採算性低下
 - ・地域密着型サービスの整備が不十分(定期巡回:0、小規模多機能:2、看多機:0、認知症対応型通所介護:3)
 - ・有料老人ホーム、サ高住等高齢者向け住まいの整備が不十分(有料老人ホーム:0、サ高住:1)
- 〈在宅医療〉
- ・在宅での医療が必要となった場合、専門診療等、地域の医療提供体制が不十分
 - ・へき地診療所の機能が脆弱で訪問看護体制が不十分
- 【課題】
- ・事業所における収入確保と経営の効率化
 - ・医療とともに24時間365日の在宅生活を支える介護資源(特に訪問型や地域密着型)の整備・充実
 - ・訪問看護の機能強化(広域化)
 - ・へき地診療所の看護力強化
 - ・企業団からの専門職の人材派遣(巡回)

- 〈急性期医療〉
- ・企業団により急性期医療対応は改善
 - ・症状の急変時の対応も改善
 - ・在宅への連携も改善
- 〈在宅医療〉
- ・重症患者への対応が不十分
 - ・在宅での看取りが少なく病院での看取りが中心
 - ・施設や地域の診療所による看取りができない
- 【課題】
- ・南奈良総合医療センターでの急変時の即時対応のさらなる充実
 - ・企業団からの専門職の人材派遣(巡回)
 - ・地域での専門診療体制の整備
 - ・施設や地域の診療所の看護師のスキルアップ
 - ・在宅での看取りに対する理解の醸成

企業団の取組

- 市町村の実施する一次支援(介護予防、健康づくり、地域の見守り)に対する医療面でのサポート
 - ・看護師(OB)の再就職先として市町村が設置するくらしの保健室等の運営を支援
 - ・リハビリ等医療専門職の派遣などによるサポート
- 地域包括支援センターに対する医療面での研修などのサポート
- 連携強化による県・市町村保健師の活動支援
- 看護師(OB)のセカンドキャリアとして奈良県版ラビホイタヤ養成の検討
- 市町村の介護予防事業や保健事業などの来院患者等への紹介、啓発

- へき地診療所の看護力強化への支援
 - ・企業団によるへき地医療支援看護師の共同採用の検討
 - ・へき地医療支援看護師の派遣による看護師不在時の支援、在宅医療充実の支援
 - ・看護師のスキルアップ支援
- 地域の診療所への支援
 - ・病診連携の強化
 - ・在宅療養後方支援の強化
- 地域の訪問看護ステーションへの支援
 - ・医療面での相談体制等連携の強化
 - ・地域で活躍できる看護師などの教育と研修

- 南奈良総合医療センターによる医療提供
 - ・医療ニーズが高い患者への訪問診療
 - ・機能強化型訪問看護ステーションの運営
 - ・入退院調整における県のAIを活用した高齢者支援システムとの連携
- 吉野病院、五條病院による医療提供
 - ・訪問診療、レスパイトも含めた在宅医療支援
- 地域の医療、訪問看護に対する支援
 - ・地域の訪問看護ステーションとの共働(連携、補完)
 - ・へき地診療所の運営コーディネーター
 - ・へき地への専門診療支援
 - ・地域の医療、介護職員の研修、相談対応などの支援